

## 2013年度事業計画

### 1. 公益目的事業

#### (1) 国際相互理解のための体験活動及び普及啓発事業

友愛学舎・ゲストハウス・レジデントアシスタントを中心に各学生サークルの連携をはかり、留学生へ情報発信を積極的におこなうようにする。双方の学生が刺激しあい成長していけるような環境づくりを行う。

##### ■Feel Japan 年中行事を楽しむ会

寮生活をしながら日本の伝統行事を体験するプログラムを実施、留学生と日本の学生が知り合う一助になることも目的とする。2012年度に引き続き、インターンシップ生と担当スタッフまたRAが共にプログラム作りを行う。また、料理教室なども随時開催していく。

##### ■国際理解講座 Global Understanding

月2回「平和」をテーマに様々な角度から国際理解を深めるための知識をディスカッション形式で学ぶ。コーディネーターとして早大YMCAの石戸充氏が指導する。フィールドワークとして、沖縄研修旅行を実施する予定である。

##### ■韓国ハンバット大学校日本研修

韓国ハンバット大学校日本語科の地域専門家養成プログラムとして訪日研修を受け入れる。

期間：未定

プログラム：企業訪問、日本の政治・在日外国人の状況等についての講義、文化体験、友愛舎生との交流等

#### (2) 国際相互理解を基調としたボランティア活動推進事業

##### ■日本語ボランティアの会

奉仕園「日本語ボランティア養成講座」の修了者がボランティア日本語講師として留学生及び在住外国人に日本語を教える。水曜日は午前1クラス・午後2クラ

ス、金曜日は午後 1 クラスで開催。通常の活動のほか、課外授業、お茶会、新年会、学習者発表会、講師の研修会など随時行う。

今年度は日本語ボランティアの会 15 周年になるので奉仕園のアジア語 40 周年記念事業などと併せて特別企画を設けたい。

#### ■あすなる会

知的障がいをもつ子どもたちと遊ぶボランティア活動をおこなう。学生による定期的な活動が難しくなりつつある状況に鑑み、学生とスタッフの協力による活動プログラムを模索したい。

#### ■東日本大震災被災者支援・復興支援活動

友愛学舎と信愛学舎を中心に留学生や恵泉女学園大学などと協力して、継続的な被災地支援活動を行う。夏季には岩手県大槌町浪板の子どもたちを招いて留学生との合同富士登山プログラム、冬季にはシクラメンプロジェクトの第 3 回目の実施を予定している。このほか、新たに首都圏に避難している小中高校生を対象に学習支援プログラム実施する。

### (3) 国際相互理解のための語学講座及びその他講座事業

#### ■アジア語学講座

アジアの言語を学ぶ語学講座及びアジア各地の文化理解を促進するプログラムを実施する。アジア語学講座開設40周年を迎える本年は、それを節目とするプログラムを実施する。

##### ①語学講座

韓国語、タイ語、ベトナム語、ベンガル語、ヒンディー語、モンゴル語、クメール語、ミャンマー語のクラスを開講するほか、7月、3月に週末を利用した集中講座を開講予定。

##### ②開講 40 周年記念プログラム

アジアに関するテーマを取り上げる講座や展示会を随時開催する。

- ・「40 周年記念徐京植講演会」を 4 月 20 日に行う。今アジアと共に生きるとはどのような意味を持つのか。特に朝鮮半島、東アジアとのかかわり、そして震災が投げかけている様々な問題からこれからの道標をさぐる。

- ・堀田あきお&かよ原画展「アジアのディープでハッピーな歩き方」を6月21日から26日に開催。関連のトークショーを6月22日におこなう。
- ・連続講座「今、もっと知りたいミャンマーのこと」6月から7月に全4回にて行う。講師は根本敬上智大学教授ほか。
- ・公文健太郎「アジア写真展」を9月に開催。
- ・「40周年記念12ヶ国語集中講座」として、夏季集中講座を行う。新しい言語についてもクラスを設定し、関連言語のリサーチもはかる。
- ・アジア写真公募展を開催。全国より広く作品を募る。2014年3月開催予定。

### ■英語講座

開講クラスは全3クラス。基礎英語（2クラス）では実用的な英語でのコミュニケーション力を身につけることを目指す。ディスカッションクラスでは、世界の様々なニュース記事を読み解き、意見交換することで英語のブラッシュアップを図る。

### ■日本語ボランティア養成講座

1年間3期で外国人への日本語教授法の初級から上級をコンパクトに学ぶ。4月に日本語ボランティア養成講座「初級Ⅰ」半年間（全16回）を開講。修了後、日本語ボランティア活動が開始できる。引き続き10月開講の「初級Ⅱ」（全10回）では、初級から中級レベルへの重要表現文型とその教え方を学ぶ。翌1月からは学習者の多様なレベル・ニーズに対応した適切で効果的な教授法が学べる「中・上級」（全6回）講座を開講。1年を通して、学習者のレベルに合わせたこれら3つの講座を充実させることを目指す。

講師：数土容子（武蔵大学講師）

### ■「スコットホールでゴスペルを歌おう」講座

スコットホールを会場に年4シーズンを設け、ストレッチ、ボイストレーニングを交えてゴスペルを始め幅広いジャンルの歌を歌う。各シーズンに1曲ずつ講師による奉仕園オリジナルアレンジ曲をマスターし、年に1、2回の発表会を目標に基礎からじっくり積み上げて行く講座。元気が出る講座として明るく楽しく歌ってもらうことを目指す。

講師：藤子（プロシンガー）

## ■鈴木喜一の水彩画レッスン

前後期に各 6 回開催、初心者向けに実技を丁寧に指導する。静物画や野外スケッチ、作品講評を中心とした内容となる。講座終了後は作品展を早稲田スコットホールギャラリーで開催する。

講師：鈴木喜一（武蔵野美術大学講師・あゆみギャラリー主宰）

## ■聖書講座<日本クリスチャンアカデミー関東活動センターとの共催>

### ①はじまりの聖書～旧約聖書の人間像～

講師：吉岡康子（青山学院女子短期大学宗教主任、日本基督教団吉祥寺教会牧師、学生キリスト教友愛会 S C F 館長）

期間：2013 年 2 月から 6 月の全 5 回

### ②聖書によれば同性愛は罪？～わたしらしい性と生のために

講師：山口里子（日本フェミニスト神学・宣教センター共同ディレクター）

期間：4 月から 12 月の全 8 回

## (4) 学寮運営事業（友愛学舎・ゲストハウス）

### ■友愛学舎

#### ①舎生数

2013 年度は 4 年生 3 名（男子 2 名・女子 1 名）、3 年生 3 名（男子 2 名・女子 1 名）、2 年生 4 名（男子 4 名）の在寮生に加え新一年生 4 名を募集する。

#### ②活動

朝の会：学期期間中の月曜日から金曜日の 7 時から 7 時 30 分、聖書講読（創世記）及び学生発表等を行う。講師は古賀博牧師（早稲田教会）、大矢直人牧師（東京平和教会）、有住航伝道師（早稲田教会）。

舎生会：毎月 1 回開催、友愛活動・生活について話し合う。

年間活動：入舎に先立って新入生対象のオリエンテーションを実施、奉仕園・友愛学舎の歴史などを在寮生とともに学ぶ機会を持つ。入舎式（4 月 7 日）友愛旅行・卒

舎式(3月)、信愛学舎・山手学舎との3学舎交流会(5月)などの行事のほか、3学舎と協力し東日本大震災被災者支援活動を継続する。また、海外研修やボランティアの機会を提供し参加できるような環境を整える。

### ③キリスト教学生寮懇談会

都内及び近郊のキリスト教主義による学生寮のネットワーク構築を目的に、2012年10月に発足。現在、友愛学舎、早稲田大学YMCA信愛学舎、東京YMCA山手学舎、山上学寮、登戸学寮、東京ティラナスホール、一橋大学YMCA一橋寮、春風学寮、東京大学YMCA寮の9団体が参加。年3回程度の会合を予定し、寮の見学や運営上の情報交換をおこなっている。

### ■ゲストハウス

大学学部生・大学院生・研究者のための寮であり、7名が在寮。年2回ほど寮生同士の懇親会を行い奉仕園のプログラムなどへの積極的な参加を促す。

## (5) 早稲田大学との協力による学寮運営事業(国際友愛学舎)

---

### ■国際学舎

早稲田大学の外国人留学生・研究員寮152室を運営。レジデントアシスタント(RA)がRAルームに平日の19時から21時まで常駐する。

### ■留学生健康相談室の運営

必要に応じて個別面談を実施し健康状態の把握に努めると共に、インフルエンザの流行対策を始め大学とも連携を取り、緊急時を含めて対応できるような体制をとっている。

カウンセラー：吉田豊医師、紀野久美子保健師

開室時間：毎週月曜日13時～15時30分、毎週水曜日及び木曜日13時30分～17時30分

相談内容：病院の紹介、栄養指導、ケガの応急処置、風邪の初期対応、感染症(インフルエンザ等)についての情報提供、アンケートでの健康状態の把握など。

### ■奉仕園クリスマス会

奉仕園学生寮の寮生を中心に、12月14日に開催する。交流パーティーのほか、グループ

や個人によるアトラクションを予定。他の早稲田大学留学生寮へも呼びかける。

#### ■ホームビジット

留学生に東京近郊の一般的な日本人の生活に触れてもらう機会を提供する。

協力依頼：奉仕園OB OG、早稲田教会、東京平和教会、奉仕園日本語ボランティアの会、  
稲門会など

実施期間：前期 6月3日～7月7日、後期 10月15日～12月8日

#### ■第10回早稲田大学留生長野市大岡研修旅行

長野市大岡を訪問し、小学校訪問、農作業体験、ホームステイなどを通じて日本の農村生活を体験する。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者 20名

期間：5月下旬から6月上旬の2泊3日

協力：早稲田大学留学センター、財団法人育てる会大岡ひじり学園、長野市教育委員会

内容：大岡中学校での交流会、農家へのホームステイ、郷土料理実習、農作業体験、  
陶芸実習、自然散策、歴史的建造物の見学、ほか

#### ■第4回富士山登頂旅行

本年は東日本大震災被災者支援活動とリンクさせ、岩手県大槌町浪板地区の子どもたちと留学生と一緒に登頂を目指す。事前のオリエンテーションにおいて、富士山のこと、登山の知識等のレクチャーをおこなう。

人数：留学生及び子ども計 20名程度

期間：7月上旬の2泊3日（1泊は山小屋）

協力：YMCA 東山荘

#### ■第8回早稲田大学留学生・冬の富士山を楽しむ研修旅行

早稲田大学留学生が静岡県御殿場市を訪問し、富士山周辺散策を通じ日本の自然に触れ、環境への理解を深める。友愛学舎・信愛学舎の日本人学生を中心として留学生との合同で実施するプログラムとし、お互いの交流を深める場となるようにする。

人数：早稲田大学在籍の外国人留学生・研究者 20名、日本人学生若干名

期間：2月初旬の2泊3日

協力：早稲田大学ICC、YMCA東山荘

内容：富士山麓の散策、富士山周辺の自然学習、郷土料理実習、箱根観光等

■留学生学生寮シンポジウム<JA F S A（国際教育交流協会）との共催>

留学生寮の運営に関するシンポジウムを秋季に奉仕園を会場に開催予定。

■施設・設備

5号館（ベニンホフ記念館）の耐震検査を実施し、耐震工事の必要性の有無を確認する。

また、災害緊急時対策強化のため、専用の倉庫を新設し非常食、電灯等の備蓄をおこなう。

## 2. 収益事業

### （1）駐車場及び貸事務所等の賃貸並びに管理受託事業

■賃貸事業

月極め駐車場及び事務所の賃貸、宣教師館・牧師館、教会への施設貸出し。

■施設管理の受託

早稲田大学染谷国際会館の施設管理及び入居者の各種対応をおこなう。

### （2）会議施設及びホール施設の貸与事業（セミナーハウス）

■会議室・ホール・早稲田スコットホールギャラリー

備品・設備の改善を適宜行い、利用拡大に努める。ギャラリーは昨年に引き続き「東京の近代建築スケッチ公募展」(11月末)やアジア語40周年を記念した数回の企画展を開催し、若手アーティストの活動を支援すると共に、利用者の拡大に努める。

■プログラム（協賛を含む）の開催

年3乃至4回程度、趣旨に賛同する集会について、使用料の割引やチケット等の買い上げにより、集会や活動を協賛する。また、東京都文化財ウィークに合わせたスコットホール公開事業（11月頃）を行う。チャリティー古本市（5月、10月）を実施する。

## ■施設・設備

5号館耐震診断のほか、YOU-Iホール付近の改装、スコットホール正面入口のスロープ設置などを実施予定である。

## 3. 法人事務

### ■賛助会員

公益団体としての認知度を高め、広く個人・諸団体からの支援を得ることを目的とし、賛助会員制度を設けている。本年度は、個人・団体との更なる会員増を目指す。

### ■広報

奉仕園通信の発行は年2回、カラー版で発行する。早稲田スコットホールギャラリーホームページ及びブログの内容を充実させていく。また、フェイスブックなどSNS（ソーシャル・ネットワーク・サービス）による情報発信を継続してすすめる。

### ■財団会議

理事会 第1回定時理事会（6月）、第2回定時理事会（2014年3月）

評議員会 定時評議員会（6月）

常任理事会 数回開催

### ■奉仕園ホームカミングデー

6月の開催を予定している。

### ■キリスト教施設長会議

2014年1月29日から31日、沖縄宜野湾セミナーハウスを会場に開催する。